



問 令和6年5月5日（こどもの日）の夕方、町有財産「ふれあいの里たまがわ」の建物火災が発生した。出火場所は、建物北側軒下の東側工作物から建物壁面等への延焼等であった。営業時間外のため、一般の

方や従業員等への人的被害はなかった。なぜ、火災になったのか。また、同様の営業形態施設は他にあるか。

問 火気の取扱いは適正であったか。

問 今後の防火管理体制は、消防計画が確実に実施されているか、年度ごとの町有施設からの実績報告書と併せ、防火管理の実施状況を報告していただき、確認する。

町所有管理財産の防火対象物の防火管理等の取り組みについて 畑 豊



問 正確な検査・診察を実施すると共に、生徒児童のプライバシーや心情に配慮した健康診断を実施するための検討は行われたのか。

問 各学校の養護担当教諭を中心に検討した。

問 AED（自動体外式除細動器）に三角巾の配備を

問 耳が聞こえにくい高齢者や難聴者と円滑にコミュニケーションをとるために設置の考えは。



学校における「円滑な健康診断実施のための環境整備」の推進について 小島利枝



問 AEDが必要な方のプライバシーを守り、躊躇せずに行うことができるよう三角巾と使い方のリーフレットを配備していく。



問 公民館ロビーで学習するも良いが、議場も基本的に議会会期中以外は使用していないので、子どもたちの夏休み期間中だけでも利用することができないか。

問 令和5年度は、都幾川公民館ロビーを整備し、その後における利用者は、以前よりも増加傾向にある。

また、利用者からも、「時間を選ばず気軽に勉強できる学習スペースの整備は、とてもありがたい」との意見を頂いている。閉会中の議場を学習活動の場として開放する考えは、町の将来を担う子どもたちの学習の

学習スペースの拡大を 小宮 正



場を提供する上で、とてもありがたい話である。正式に議場の利用が可能となった場合は、議会事務局とも連携しながら学習の場としての利用方法について検討を進める。

※災害「3」の処分方法についても質問した。

問 老人クラブは、長年地域内の活動において重要な役割を果たしている。

問 老人クラブの活動は、地域における高齢者のコミュニケーションづくりや健康づくり、日常生活での助け合いなどにつながる重要な役割を担うものと考えている。

問 老人クラブに相談員（コーディネーター）を専任に配置することは難しいと考えるが、町としては社会福祉協議会と連携して老人クラブの活動支援をしていきたいと考えている。

問 各単位クラブから連合会事務局への会計報告書については、定められた様式のみではなく手書きによる報告書でも受け付けるなど、事務局で柔軟な対応をしている。



魅力ある老人クラブにするために、助成金増額を 長島金作



クラブにするために、助成金の条件についてもできる限り簡素化した手続の助成金であるべきと考えるが町の考えは。